

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 10 月 7 日 (2021.10.7)

【公表番号】特表 2021-501579 (P2021-501579A)

【公表日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【年通号数】公開・登録公報 2021-003

【出願番号】特願 2020-524201 (P2020-524201)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/13 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/40 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 31/366 (2006.01)

A 6 1 K 31/47 (2006.01)

A 6 1 K 31/505 (2006.01)

A 6 1 K 31/397 (2006.01)

A 6 1 K 31/22 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/13

C 0 7 K 16/18 Z N A

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 31/40

A 6 1 K 31/404

A 6 1 K 31/366

A 6 1 K 31/47  
A 6 1 K 31/505  
A 6 1 K 31/397  
A 6 1 K 31/22

【手続補正書】

【提出日】令和3年8月26日(2021.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ヒト A p o C 3 に特異的に結合する単離された抗体であって、前記抗体が、相補性決定領域 C D R H 1、C D R H 2、および C D R H 3 を含む重鎖可変領域と、相補性決定領域 C D R L 1、C D R L 2、および C D R L 3 を含む軽鎖可変領域と、を含み、

- ( a ) C D R H 1 が、配列番号 3 のアミノ酸配列を含み、
- ( b ) C D R H 2 が、配列番号 3 6 のアミノ酸配列を含み、
- ( c ) C D R H 3 が、配列番号 1 0 のアミノ酸配列を含み、
- ( d ) C D R L 1 が、配列番号 6 のアミノ酸配列を含み、
- ( e ) C D R L 2 が、配列番号 7 のアミノ酸配列を含み、かつ
- ( f ) C D R L 3 が、配列番号 1 4 のアミノ酸配列を含む、

単離された抗体。

【請求項2】

前記重鎖可変領域が、配列番号 4 2 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項3】

前記軽鎖可変領域が、配列番号 5 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項4】

前記重鎖可変領域が、配列番号 4 2 のアミノ酸配列を含み、前記軽鎖可変領域が、配列番号 5 4 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項5】

配列番号 6 8 のアミノ酸配列を含む重鎖を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項6】

配列番号 6 8 のアミノ酸配列を含む重鎖を含む、請求項 3 に記載の単離された抗体。

【請求項7】

配列番号 7 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項8】

配列番号 7 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖を含む、請求項 2 に記載の単離された抗体。

【請求項9】

配列番号 4 2 のアミノ酸配列を含む重鎖可変領域。

【請求項10】

配列番号 6 8 のアミノ酸配列を含む重鎖。

【請求項11】

配列番号 5 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖可変領域。

【請求項12】

配列番号 7 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖。

【請求項13】

ヒト A p o C 3 に特異的に結合する単離された抗体であって、配列番号 6 8 のアミノ酸配列を含む重鎖と、配列番号 7 4 のアミノ酸配列を含む軽鎖とを含む、単離された抗体。

【請求項 1 4】

重鎖のアミノ酸配列が、配列番号 6 8 のアミノ酸配列からなり、軽鎖のアミノ酸配列が、配列番号 7 4 のアミノ酸配列からなる、請求項 1 3 に記載の単離された抗体。

【請求項 1 5】

重鎖定常領域を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項 1 6】

前記重鎖定常領域が、ヒト I g G<sub>1</sub>、I g G<sub>2</sub>、または I g G<sub>4</sub> の重鎖定常領域である、請求項 1 5 に記載の単離された抗体。

【請求項 1 7】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、E U 位置 4 3 3、4 3 4、および 4 3 6 でアミノ酸 K、F、および Y を含む、請求項 1 5 に記載の単離された抗体。

【請求項 1 8】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、E U 位置 2 5 2、2 5 4、および 2 5 6 でアミノ酸 Y、T、および E を含む、請求項 1 5 に記載の単離された抗体。

【請求項 1 9】

前記重鎖定常領域が、それぞれ、E U 位置 4 2 8 および 4 3 4 でアミノ酸 L および S を含む、請求項 1 5 に記載の単離された抗体。

【請求項 2 0】

前記重鎖定常領域が、配列番号 2 1、2 2、2 3、2 4、7 5、7 6、7 7、7 8、7 9、8 0、8 1、8 2、8 3、8 4、8 5 及び 8 6 からなる群から選択されるアミノ酸配列を含む、請求項 1 5 に記載の単離された抗体。

【請求項 2 1】

軽鎖定常領域を含む、請求項 1 に記載の単離された抗体。

【請求項 2 2】

前記軽鎖定常領域が、配列番号 2 5 または 2 6 のアミノ酸配列を含む、請求項 2 1 に記載の単離された抗体。

【請求項 2 3】

請求項 1 に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 2 4】

請求項 4 に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 2 5】

請求項 9 に記載の重鎖可変領域と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 2 6】

請求項 1 0 に記載の重鎖と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 2 7】

請求項 1 1 に記載の軽鎖可変領域と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

。

【請求項 2 8】

請求項 1 2 に記載の軽鎖と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 2 9】

請求項 1 3 に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。

【請求項 3 0】

請求項 1 4 に記載の抗体と、薬学的に許容される担体と、を含む、医薬組成物。